

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q: お参りさせてもらった仏壇に、ローソクの火を灯すと燃え尽きるまで消しちゃいけない？

A: 特にそのような作法はありませんが、そんなこだわりを持つ方がおられます。

先日お参りに伺うと、上の質問を頂きました。その質問が心に残ったのも、私にもそうした経験があるからです。読経の際は、必ずローソクに火を灯し、お線香をたきます。そして読経が終わると、お話をしてローソクの火を消して席を立つのが私のスタイルです。でも昔はよく「(ローソクの火を) 消したらいかんで」と注意されたことが何度かあったので覚えているのです。ローソクの火が何かに燃え移ったら大変なので、とにかく消すように心掛けているのですが、「消したらいかん」と言う方には、別のこだわりがあるようです。そのこだわりが何かまでは聞いたことがないので、推測の域を出ませんが、ローソクのお光も亡き人への供え物であるから、1本丸まる燃え尽きるまで供え切らないといけなくと考えるおられるのでしょうか。真意は分かりかねます。ただ仏事の作法としては、そのようなきまりはありませんが、そのように心掛けている方がおられるのも事実です。年々少なくなった気もしますが、今度そういう方にお会いしたら理由を尋ねてみて知らせて下さいね。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問: 誇張して言ったり見せたりする意味ではないのは、次の三つの中のどれでしょうか？

- ①大風呂敷
- ②大袈裟
- ③大盤振る舞い



答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

fax の受付は、朝8時～夜9時までとさせていただきます。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。
先月の答え、③果報は寝て待てでした。何事も焦らず待つことですね。

***** 坊守の月イチブログ *****

没イチさま

一度離婚した人をバツイチ様、配偶者と死別した人を没イチさまと呼ぶようです。

「バツイチと没イチを一緒くたにされたくない！」バツイチ様は意思があって別れた人、没イチさまはお別れをしたくないのにお別れしてしまった人、と分けて欲しいのだそうです。

先日お寺に来てくれた第一生命経済研究所の小谷みどりさんが中心になってやっています。夫婦仲良く生活していても必ずどちらかが先に逝く。先に逝く人は置いといて、後に残された人はまだまだ生きていかねばならない。ふさぎ込んで引きこもらないように、1人になってもまた人生を楽しめるように、残された人達が集まって心の痛みを共有しながら逞しく生きる練習をする集まりが話題になっていました。テレビで見る限り楽しそう。悲しみを共有し、乗り越えた後にはそれぞれの新たな幸せが待っているのかもしれない。

お一人様上等！とまでは思い切ることはできそうにありませんが、こんな集まりが近くにあると、一人ぼっちになるのも怖くないな、と思わせてくれました。

@: かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。

